

算数！ さん レッ 算 だより



令和7年3月6日 発行
文教大学付属小学校
校長 島野 歩
算数 堀野 彰彦



1年間、たいへんよくがんばりました！

3月になり、いよいよ卒業の季節となりました。
卒業生の皆さん、おめでとうございます。卒業後も学びの姿勢を忘れず、さらに成長していくことを願っています。

1～5年生の皆さんも、この1年を本当によくがんばりました。新しい学年でも、さらに自分らしく力を伸ばしていけるよう、チャレンジを続けていきましょう。

今月の算数だよりでは、今年度の授業の様子や、毎日のがんばりがどんなふうにつながるか、今年度数学でがんばった人を紹介します！

また4月からのスタートがもっと楽しくなるよう、この春にしっかりと準備をしていきましょう。



最後に...

算数だよりご覧いただきありがとうございました。

もうすぐ今年度も終わりですね。皆さんといっしょに算数を学べたこの1年、たくさんの「わかった!」「できた!」という声や笑顔に出会えて、先生も毎日とてもワクワクしていました。



◀笑顔あふれる3年生
(もちろんほかの学年も!)

さらに、すてきなお手紙や似顔絵をたくさんいただき、ありがとうございました。一つひとつに皆さんの優しさやがんばりがつまっていて、読むたびに心があたたかくなりました。

皆さんからいただいた
お手紙大切にしますね！



皆さんからのお手紙など▶

今年度で皆さんと過ごす時間は一区切りとなりますが、これからも算数を楽しむ気持ちを忘れずにいてください。次の学年でも新しいことにチャレンジしながら、どんどん自分の力を伸ばしていってほしいと思います。

1年間、本当にありがとうございました。そして来年度も、算数を好きになったりわかる楽しさを味わったりできるよう、元気いっぱいがんばってください。応援しています！



(ま)の先生

◀書いてくれた似顔絵

2024年度 算数科 堀野

おめでとう！

祝

兼平 昌尚さん



津田 湖さん

算数より難しい/
数学検定合格！

数学検定とは？

文部科学省後援の
「実用数学技能検定」です。
小学生から大人まで受験でき、
数学の力を総合的に認定する
全国規模の検定として、
多くの人が挑戦しています。

今回は、中学校以上のレベルとされる数学検定に合格した
津田さんと兼平さんの頑張りに注目します！

2人がどのようなきっかけで受験を決意し、どのような工夫や努力を重ねて合格を勝ち取ったのか——インタビューを通じて見えてきた想いや学習のポイントをまとめました。

ぜひ、皆さんの学習の参考にしてみてください！



津田 湖さん

好きこそ最強の武器！

「算数はほかの教科より得意で、計算が好きだから」という軽いきっかけで数学検定3級に挑戦して合格した津田さん。教材を印刷して何度も繰り返し解き、式を書くことを徹底する勉強法を実践したそうです。

「飛ばしても見直しをおこなうなければ点が取れる」という言葉通り、本番でもリラックスして力を発揮。合格を知ったときは「やっぱりうれしかった！」と心から喜んでいました。これからはさらに上の級に挑戦するだけでなく、フラッシュ暗算など新たなスキル習得にも意欲を燃やしています。

苦手を得意に変えた挑戦！

国語が得意だった兼平さんは、あえて苦手な算数を克服するために数学検定5級を受験しました。過去問を中心に、分からないところは先生や家族に質問しながら着実に力をつけました。「努力は必ず報われる」という強い思いが支えになり、本番は普段どおり落ち着いてテストに臨めたそうです。

合格の知らせを聞いた瞬間は家族や先生に感謝があふれ、「次は4級、そして漢字検定も！」とさらに意欲を高めています。将来困らないために今のうちにしっかり学んでおきたい、そんな前向きな姿勢が印象的でした。



兼平 昌尚さん

あなたも挑戦！

小学生向けの「算数検定」もあります！
1年生から受験できる11級から
大学・一般レベルの1級まで
あなたに合った級に挑戦してみましょう！

まずは検定について公式HPから
調べてみて、過去問に挑戦しましょう！
もし興味があれば、
2025年度は15回行われるので、
勉強して挑戦をしてみましょう！

津田さん、兼平さん、
合格おめでとうございます！
算数は将来さまざまな場面で役立つ力。
試験を通して得た自信を大切に、
これからもいろいろなことに
挑戦してみてください。
みなさんも、自分なりの目標を
見つけてコツコツ努力
していきましょう。
応援しています！





Thank you
2024-2025!
so much

授業や休み時間の様子
3-6年生の授業だけではなく、
休み時間には1・2年生もよく遊びに来てくれました！

算数で広がる“生きる力”

「算数」って、1年を振り返ってみると、ただ計算をするだけの教科ではないと気づいた人もいます。

先生は、算数には物事の見方や工夫の仕方、人との関わり方など、計算以外にも大切な力がつまっていると思っています。算数の考え方は、みんなの毎日の生活にもつながっています。



今回は、そんな算数の広がりを感じられる3つのことを紹介します。算数を通して、「考える力」や「周りとのつながり」を感じてもらえたらうれしいです。算数は、教室の中だけでなく、みんなの毎日にも生きている—そんなふうに思ってもらえたら幸いです。

毎日の努力が大きな力になる「あと一歩の法則」

「あと一歩の法則」とは、「毎日やっていることに加えて、ほんの少しの努力を積み重ねることで、大きな力になる」という考え方です。国語でいうと、「ちりも積もれば山となる」に近い考えですね。

もとにする数

例えば、勉強を1(100%)やっていることにに対して0.01(1%)だけ「あと一歩」がんばるとします。この小さな努力を1年間(365日)続けると...

$$1 + 0.01 \quad 1.01 \times 1.01 \times \dots \times 1.01 \times 1.01 = \text{約} 37.7$$

365回

少しの努力だけで、なんと1年で約38倍の力に成長します！

もし反対に、毎日「すこしずつ(1%)手を抜く」と...

$$1 - 0.01 \quad 0.99 \times 0.99 \times \dots \times 0.99 \times 0.99 = \text{約} 0.03$$

365回

ほとんど力が残らなくなってしまうのです。この「あと一歩の法則」は、算数だけでなく、スポーツや音楽、毎日の生活でも同じ。大切なのは、完璧を目指すのではなく、少しずつ前に進むこと。

今日も「あと一歩」だけがんばってみよう！その積み重ねが、きっと大きな力になります。



かだい こんなん くふう きょうりょく

課題や困難は工夫と協力でラクになる！

難しい問題やうまくいかないことに
出会ったとき、どうしますか？

「がんばって力づくでやる！」という方法もありますが、「工夫」や「協力」で、もっとスムーズに解決できることもあります。

例えば、四角い形を押すのは大変ですが、丸い形にすると転がしやすくなり、坂を使えばさらに動かしやすくなります。みんなで協力すれば、より効率よく運べます。

算数の問題も同じです。難しい問題に直面したら、「どうすれば解きやすくなるかな？」と考えてみましょう。式を工夫したり、図や表を使ったりすることで、より分かりやすくなります。また、一人で悩んだときは、友だちと相談することで新しいアイデアが生まれるかもしれません。

算数(ほかの教科や生活でも同じ)は、ただ正解を出すだけでなく、「工夫する力」や「協力する力」も必要です。ぜひ課題に向き合うときは、視点を変えて考えてみましょう。



やさしさを伝える 4つの計算「やさ4算」

算数の計算には、「+ (たす)」「- (ひく)」「× (かける)」「÷ (わる)」を使いますね。でも、4つの記号が、人との関わりにもつながっているとしたらどうでしょう？先生はやさしさの気持ちにも当てはめると考え、「やさ4算」と名付けました。



「たす」けあう

一人の力は小さくても、仲間と協力すれば、大きなことができます。



「ひき」うける

困っている人の気持ちを少しでもひきうけると、喜びが生まれます。

「かけ」あう

気にかけて、声をかけ合ったりすることで、ひとつになります。



いた「わる」

思いやりを分け合うことで、お互いに心が温かくなり、笑顔が生まれます。



算数の計算と同じように、やさしさも「たす」「ひく」「かける」「わる」ことができます。日々の生活の中で、「やさ4算」を意識してみてくださいね。